



3月市議会定例会

市長説明

市議会3月定例会が、市役所新庁舎議場で3月3日(火)から25日(水)までの23日間の会期で開催されました。初日に行われた市長説明の概要をお知らせします。

問合せ 総務課 ☎ 89・2113

□新型コロナウイルス

感染症への対応……

本市では、1月31日に「新型コロナウイルス感染症に関する庁内連絡会議」を開催し、情報収集および感染予防の周知を行うとともに、県との情報共有にも努めてきました。

こうした中、2月27日の政府新型コロナウイルス感染症対策本部で、安倍晋三内閣総理大臣が、全国全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について、3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請したことおよび厚生労働省の2月27日付け事務連絡により、保育所および放課後児童クラブの開所要請があったことを受け、2月28日午前10時30分「新型コロナウイルス感染症に関する能代市対策本部」を設置し、対応について検討しました。

その結果、市内の全小・中学校を3月3日から春休みまでを臨時休業とするとともに、卒業式は、万全の感染防止対策を実施の上で、参加者を卒業生と教職員などの少人数に絞り、実施することにしました。なお、閉校予定の

小学校は、在校生、保護者などの皆さんにも出席していただくことにしています。

放課後児童クラブは、感染予防の観点から、利用家庭に対してできるだけ自宅待機するようお願いしていますが、共働き家庭などで児童が留守番をすることが困難な場合も想定されるため、感染予防に十分留意した上で、日・祝日以外の午前7時30分から午後7時まで開所することにしました。

公立保育所については、保護者の就業などにより家に一人であることができない年齢の子どもを対象とする施設であることから、通常どおり開所することにし、法人が運営する保育所および認定こども園も、同様の対応をお願いしています。

市主催のイベントなどは、県内での発症事例が確認されていない現時点では、一律に自粛するものではなく、参加規模や会場の状況、開催の必要性などに応じて、判断することにし、今後の感染状況などにより、適宜、見直しすることにしています。

また、このような状況下では、地域経済に対する影響も懸念されるため、必要な対応を検討したいと考えています。

その他、県内や庁内で感染者が発生した場合など、さまざまなケースを想定した各部の対応について確認しており、今後も、国内の感染状況や国、県の対応などについて情報を収集し、引き続き、本市での感染予防に努めていきます。

□危険な空家の解体に対する支援

本市の空家は年々増加し、1月末現在で2193戸、そのまま放置すれば周囲に危険が及ぶおそれのある特定空家等は55戸となっています。この特定空家などは、管理者などに対して適切な管理をお願いしていますが、経済的な理由などにより、そのまま放置され、緊急に危険を回避しなければならぬ状態となったため、市が応急措置を講じたものも発生しています。

こうした状況から市では、令和2年度から、所得が一定額以下の方が能代市内の特定空家などを解体する場合に、

50万円を限度に、解体工事費の2分の1を補助することにしました。

本制度を活用していただくことにより、危険な空家の解体を促進するとともに、住環境の改善、安全・安心なまちづくりを推進したいと考えています。

□能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略……

創生総合戦略……

現在、9月以降に取りまとめた人口減少対策に関するアンケート調査の分析結果や能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議からのさまざまな意見などを踏まえながら、第2期総合戦略素案を作成しているところです。

国では昨年12月に第2期総合戦略を閣議決定し、県では第2期あきた未来総合戦略(仮称)を3月中に策定することにしています。

市では、国や県の総合戦略との整合性を図る必要があり、これには一定の期間を要することから、第2期能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略は令和2年度の早い時期に策定したいと考えています。

□地域自治区……………

合併特例法の規定により合併前の二ツ井町の区域に設置している地域自治区の設置期間が令和2年度末で満了することを受け、庁内検討会議を設置するとともに、地域協議会などの意見を伺いながら今後の方向性について検討しています。

本市は、合併から14年が経過しようとしており、この間、両市町で異なっていた行政サービスなどの統一のほか、二ツ井地域では、二ツ井小学校建設、二ツ井荷上場地区簡易水道整備、二ツ井図書館整備などの新市建設計画に基づく事業や、道の駅ふたつ井整備などの地域振興事業に取り組んできました。こうしたことを踏まえ、庁内検討会議では、地域自治区は一定の役割を終えたものと考え、設置期限をもって廃止する方針を取りまとめたところです。

市としては、引き続き、地域自治区の廃止により見直しが必要となる二ツ井地域局の組織体制や「二ツ井町」の住所表示などについて、対応を検討したいと考えています。

□本因坊戦の開催……………

第75期七番勝負の第2局が5月25日、26日に旧料亭金勇で行われることが決定し、本市での開催は、平成26年、28年、30年に続き、4度目となります。

昨年、歴代最多の4つ目の七大棋戦「本因坊文裕」こと井山裕太九段が、

9連覇を目指す注目の対局となります。また、挑戦者は4月上旬ごろに決定する見込みとなっています。

対局に合わせて、囲碁大会や大盤解説会などの記念事業を実施し、市内外から多くの方々にお越しいただけるよう、本因坊戦能代市開催実行委員会を初め、関係者の皆さんとともに準備を進めていきます。

□能代市山本郡養護老人ホーム組合からの脱退……………

同組合は、養護老人ホームやまもとを運営する一部事務組合として、昭和46年に山本郡7町村を構成団体として設立されており、平成18年の市町合併時に、旧二ツ井町が構成団体であったことから、合併後も引き続き能代市として加入しています。

しかしながら、本市には養護老人ホーム松籟荘があることや、養護老人ホームやまもとへの本市の入所者が少数で推移していることなどを踏まえ、構成団体としての役割は縮小したものと判断し、令和2年度末で同組合から脱退することで調整を進めているところです。

□能代港湾湾計画の改訂……………

1月23日の秋田県地方港湾審議会の審議を経て、2月19日に国土交通省交通政策審議会港湾分科会で改訂案の審議が行われ、妥当であるとの答申がありました。今後、年度内に港湾管理者である秋田県が計画を公示し、改訂と

なる見込みです。

本改訂には、洋上風力発電の部材を輸送する船舶の係留に対応するための岸壁の増深・延長、部材保管のヤード不足に対応するための埠頭用地の拡張などが盛り込まれており、洋上風力発電の拠点化が進むものと期待しています。

□能代港湾湾区域における洋上風力発電事業……………

事業計画者の秋田洋上風力発電株式会社から今年度中に工事に着手して令和4年末までに運転を開始するとの報告がありました。操業中は、能代港を拠点として設備保守、運転管理を行うとのこと。

本プロジェクトは、洋上風力発電として国内初の本格的な商用運転となることが見込まれており、今後の洋上風力発電事業や関連産業振興の大きな弾みになることを期待しています。

□能代火力発電所3号機……………

市民の念願であった3号機が昨年6月から試運転を開始し、順調に調整を重ね、昨日3月2日から営業運転を開始したとのこと。

これまで建設工事に伴って地域に大きな経済波及効果もたらされましたが、3号機の稼働により、数か月に及ぶ大規模な定期検査が毎年実施されることになり、今後も継続した経済波及効果が期待されるところです。

□東京2020オリンピック・パラリンピック大会のホストタウンの取り組み……………

1月26日から31日までの日程で、ヨルダンを訪問してきました。

同国オリンピック委員会会長であるファイサル王子との会談や、同国競技団体、在日本大使館および関連団体との意見交換により、東京2020大会の参加選手の状態などについて情報収集できたほか、事前合宿の要望や大会後の事後交流への期待などについて確認することができました。

今回の訪問では、世界遺産であるペトラ遺跡や死海、首都アンマン市内を案内していただき、同国の歴史、文化、自然などに魅力を感じる一方で、再生可能エネルギーへの取り組みなど、本市との類似点も見受けられました。今後も、同国との相互理解をさらに深めながら、引き続き選手団の受け入れや事後交流などに取り組んでいきたいと考えています。

□(仮称)イオン新能代ショッピングセンター……………

イオングループのデイベロッパ部門の責任者から、市に対して報告がありました。その内容ですが「建設予定地の地盤改良工事は終了し、現在は実施設計を進めている。今後のスケジュールについては、現在の計画どおり進めば今年の夏ごろを目途に建築確認申請や大規模小売店舗立地法に基づく届